

除草剤 緑化用

 **デスティニー**[®]
WDG

新技術情報システム (NETIS) 広葉雑草並びにクズ、ネズミムギ等への 除草技術

公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等

登録商標 第5009801号

NETIS新規登録取得技術のメリット

経済性の向上 **62%**

作業性の向上 **85%**

・安全性向上 ・リスクなし

(飛び石、刈刃接触事故、振動障害等)

※ 従来技術：肩掛式エンジン刈り払い機での除草



幅広い草種に安定した効果

NETIS新規登録取得技術

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ヨードスルフロンメチル ナトリウム塩を 含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	－	一年生及び 多年生 広葉雑草	雑草発生前～ 発生初期	0.015～ 0.02g/㎡	200～ 300mL/㎡	2回以内	全面散布	2回以内
樹木等	公園、庭園、 堤とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、のり面、 鉄道等		雑草生育期	0.04～ 0.08g/㎡	100～ 200mL/㎡			
				0.06～ 0.12g/㎡				
				ネズミムギ	0.04～ 0.12g/㎡		100～ 300mL/㎡	

防除時期

散布時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広葉雑草 (一年生及び多年生)	散布時期						散布時期					
セイヨウアブラナ セイヨウカラシナ	生育期		開花3月～4月		高温樹木薬害注意						発生10月～	
	散布時期										(ロゼット葉) 散布時期	
ネズミムギ (ライグラス)	生育期		開花5月～6月								発生10月～	
	散布時期										(幼苗) 散布時期	
クズ				発生4月～		開花7月～9月			塊根に養分貯蔵期			
	散布時期						散布時期					

一年生・多年生広葉雑草への効果

■カラスノエンドウ、シロツメクサ、ヨモギへの茎葉効果

試験場所	散布日	薬剤
山口県	2019年2月13日	デスティニーWDG 0.05g/m ²



■セイヨウカラシナへの茎葉効果

試験場所	散布日	薬剤
山口県	2020年2月18日	デスティニーWDG 0.08g/m ²



クズへの防除

クズへデスティニーWDGを散布後、
ゆっくりとした効果のため、
自然枯れに近い枯れ方が特徴

■デスティニーWDG単剤処理

試験場所	散布日	薬剤
山口県	2018年 10月19日	デスティニーWDG 0.1g/m ²



11月 処理後1カ月



12月 処理後2カ月

イネ科への植生変化

秋・春年2回処理イネ科の植生へ
エノコログサ、スズメノヒエ等

■デスティニーWDG単剤処理

試験場所	散布日	薬剤
大阪府	2017年 10月26日	デスティニーWDG 0.08g/m ²
	2018年 4月10日	デスティニーWDG 0.1g/m ²



2017年10月26日処理日
クズ、セイタカアワダチソウ群生



2018年10月2日秋・春2回処理の一年後

多年生イネ科への植生回復

格子の高さで刈取り後に散布
ギョウギシバを以前、牧草混合して吹付された箇所
2018年、2019年デスティニー+エスプラネード年2
回施用で刈取りゼロを実現

試験場所	散布日	薬剤
大阪府	2018年 5月28日	■デスティニーWDG ■エスプラネードフロアブル 0.075mL/m² (一年生土壌処理)



2018年5月28日処理日



2018年10月2日ギョウギシバへ植生回復

混合処理による全枯らし(道路除草等)

秋・春年2回処理
雑草の発生なし(多年生、一年生含め)

試験場所	散布日	薬剤
大阪府	2017年 10月26日	■デスティニーWDG 0.08g/m² ■エスプラネード 0.075mL/m² ■ラウンドアップ 2mL/m²
	2018年 4月10日	■デスティニーWDG 0.1g/m² ■エスプラネード 0.075mL/m² ■ラウンドアップ 2mL/m²



2017年10月26日処理日
クズ、セイタカアワダチソウ群生



2018年10月2日秋・春2回処理の一年後

殺草スペクトラム(発生初期～生育期《30cm以下》)

科 名	和 名	薬量 (g/mL)		科 名	和 名	薬量 (g/mL)		科 名	和 名	薬量 (g/mL)	
		0.04	0.08			0.04	0.08			0.04	0.08
キク科	アレチノギク	●	●	アブラナ科	イヌガラシ	◎	●	マメ科	カラスノエンドウ	●	●
	ウラジロチチコグサ	●	●		タネツケバナ	●	●		コメツブツメクサ	●	●
	オオアレチノギク	●	●		ナズナ	●	●		シロツメクサ	●	●
	オニタビラコ	◎～●	●	サギゴケ科	ムラサキサギゴケ	●	●	カタバミ科	カタバミ	●	●
	オニノゲシ	◎～●	●	スベリヒユ科	スベリヒユ	●	●		ツユクサ	◎～●	●
	セイタカアワダチソウ	●	●	ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	●	●		マルバツユクサ	◎～●	●
	セイヨウタンポポ	●	●	シソ科	ホトケノザ	●	●	ウコギ科	オオチドメ	◎～●	●
	タビラコ	◎～●	●		オランダミミナグサ	●	●		チドメグサ	●	●
	チチコグサ	●	●	ナデシコ科	ツメクサ	●	●	トクサ科	スギナ	◎～●	◎～●
	チチコグサモドキ	●	●		ハコベ	●	●		カヤツリグサ	×	×
	トキンソウ	●	●		ミミナグサ	●	●	バラ科	ハマスゲ	×	×
	ノゲシ	●	●	バラ科	ヘビイチゴ	●	●		ヒメクグ	×	×
	ハキダメギク	●	●	ヒユ科	シロザ	●	●		ネズミムギ	●	●
	ハハコグサ	●	●		オオイヌノフグリ	●	●	オオバコ科	オオバコ	●	●
	ハルジオン	●	●		オオバコ	◎	●	トウダイグサ科	コニシキソウ	●	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●		ヘラオオバコ	◎	●	タデ科	ヤナギタデ	●	●
	ブタナ	◎	●		コニシキソウ	●	●		ザクロソウ	●	●
	マメカミツレ	●	●	ザクロソウ科	ザクロソウ	●	●	マメ科	アカツメクサ	●	●
	ヨモギ	◎～●	◎～●		ウマゴヤシ	●	●		ウマゴヤシ	●	●
アブラナ科	セイヨウアブラナ	●	●								
	セイヨウカラシナ	●	●								

科 名	和 名	薬量 (g/mL)	
		0.08	0.12
マメ科	クズ	◎～●	●

●:十分な効果 ◎:高い効果 ○:効果あり
△:効果不十分 ×:効果なし —:未実施,試験中

有効成分と性状

種 類 名	ヨードスルフロンメチルナトリウム塩水和剤
商 品 名	デスティニーWDG
有効成分	ヨードスルフロンメチルナトリウム塩…10.0%
性 状	淡褐色水和性微粒及び細粒
荷 姿	100g×6袋

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♂♀)	LD ₅₀ > 5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ > 5,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼に対する刺激性	ウサギ	わずかな刺激性
	皮膚感受性	モルモット	皮膚感受性なし
水産動植物に 対する影響	コ イ		LC ₅₀ 117mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 16.4mg/L (48hr)
	藻 類		ErC ₅₀ 0.19mg/L (0-72hr)

*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 本剤はイネ科雑草(ネズミムギを除く)、カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草(ネズミムギを除く)、カヤツリグサ科雑草の優占する圃場ではこれらに有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
- 本剤の使用により、芝に黄変などが生じることがありますが、1～2週間で回復し、その後の生育には影響を与えません。
- 散布液の飛散、流出による有用作物への薬害に注意してください。
- ライグラスに対して薬害が生じやすいので、飛散しないように注意して散布してください。
- ネズミムギの防除に使用する場合は非イオン系展着剤を加用し、草丈30cm以下の時期までに散布してください。
- 散布に用いた機具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。

- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の指導を受けてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。(刺激性)
- 散布時は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手洗、顔を洗ってください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

- 食べられません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱及び作業をしないでください。
- ⚠ 水産動植物の被害防止等に関する注意事項
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
(S値評価に基づく製剤のリスク情報は「特に問題なし」に該当します。)
- 使用残りの薬液が生じないよう調製し、使い切ってください。
● 空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。
- ⚠ 貯蔵上の注意事項
● 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した場所に保管してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

緑化樹木に対する影響(過酷な条件で一部影響あり)

薬害なし	【春散布】	ウメ、スギ、マツ、サクラ、サツキ、ツバキ、イチョウ、ベニカナメモチ、ピラカンサス、キョウチクトウ、ツゲ、マサキ、アジサイ、アラカン、 <u>ネズミモチ</u> 、フジ、クサボケ (――:夏季散布は注意)
	【秋散布】	マツ、 <u>ヒマヤスギ</u> 、ヒノキ、カイズカイブキ、ツゲ、キンモクセイ、サツキ、ツツジ、 <u>ドウダンツツジ</u> 、サルスベリ、アジサイ、ヌルデ、イチイ、クリ (――:夏季散布は注意)
注 意	【夏散布】	ドウダンツツジ(下葉黄化)、イヌツゲ(新鞘黄化)、シャリンバイ(下葉黄化)、サザンカ(新鞘アントシアン)、ヒマヤスギ(黄化)
薬害あり	【夏散布】	ネズミモチ(莖葉処理:黄化⇒落葉⇒枯死 *一部再生) サクラ(莖葉処理:新葉萎縮、落葉、新芽枯死、枯死 *一部再生)

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

